

令和5年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会に 参加して

共通機器部門 藤高 仁

1. はじめに(目的等)

令和5年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会は、中国・四国地区の国立大学法人・国立高等専門学校機構のマネジメントに係る職員が集い所属機関における組織運営や人材育成の取組を他機関との情報を交換することで、活性化させることを目的として開催されている

2. 期間・場所

期間:令和5年8月24日・25日

場所:香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア2階 多目的ホール

3. 参加者等

中国・四国地区の国立大学法人・国立高等専門学校機構に所属しマネジメントを司る技術職員

4. 研修内容

一日目は名古屋工業大学玉岡悟司氏より「技術職員制度の沿革今後の課題について」の講演を拝聴し詳細な技術職員の取り巻きを説明頂いた。続いてグループワークが行われ各グループで事前に提出していた課題の中からスポットを当て事案に対する状況把握や解決法など話し合いポスターを制作して発表と意見交換を行った。二日目は津山高専前技術長中尾三徳様により「国立高専における教育研究支援体制の強化と取り組み」について香川高専寺嶋昇様村上浩様「学校・組織の紹介」香川大学技術室松本直通様「香川大学技術室について」を聴講し各機関の取り組みについて紹介を受けた。

5. まとめと感想

各国立大学法人は1機関が独立した法人で運用が異なるため技術職員組織をはじめとした学内組織の形態や運用が同じという機関は無い。国立高等専門学校機構は1法人であるがスーパー高専など機構の状況で必ず一緒ではない様子であった。このような状況を踏まえ他機関の組織運営の情報を交換し合うことは大変有意義であり優れた取り組みは部分的に自組織に取り入れることはできないかと考える。組織運用も日進月歩で進化するのであると感じた。